いしかわ県民文化振興基金　令和９年度

文化活動支援事業　募集要項

令和８年１１月

公益財団法人いしかわ県民文化振興基金

目　　次

頁

募集要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

＜制度のポイント＞・・・・・・・・・・・・　１
＜応募にあたって注意する点＞・・・・・・　２
①　応募期間・・・・・・・・・・・・・・・・　３
②　助成対象事業の実施期間・・・・・・・　３
③　助成対象団体・・・・・・・・・・・・・　３
④　助成事業の区分・・・・・・・・・・・・　３
⑤　助成対象事業・・・・・・・・・・・・・　４
⑥　助成対象となる文化活動の分野・・・・　５
⑦　助成金の額・・・・・・・・・・・・・・　５
⑧　助成対象経費・・・・・・・・・・・・・　６
⑨　申請方法・・・・・・・・・・・・・・・　７
⑩　審査方法・審査基準・・・・・・・・・・　８
⑪　申請手続き等の流れ・・・・・・・・・１０
⑫　助成を受ける旨の表記等・・・・・・・１２
⑬　留意事項・・・・・・・・・・・・・・・１２

応募様式　記入例・・・・・・・・・・・・・・・１３

（文化創造普及事業）・・・・・・・・・・・１４
（地域文化活性化事業）・・・・・・・・・・２４

いしかわ県民文化振興基金　令和９年度

文化活動支援事業　募集要項

公益財団法人いしかわ県民文化振興基金では、石川県の優れた文化の更なる向上と裾野の拡大を図るため、県内の文化団体が実施する文化活動への助成を行います。

この度、令和 9 年度の助成対象事業について募集いたしますので、助成を希望される団体は、本募集要項に基づきご応募ください。

＜制度のポイント＞

１．文化団体が新たに創意工夫を行い実施する文化活動を支援

団体として新たに立ち上げる事業や、従来事業に新たな工夫を追加して実施する文化活動を支援します。

＜２種類の助成対象メニュー＞

①県全域を対象とする文化活動事業（最大３年間で３００万円※1）

②市町域を対象とする文化活動事業（最大３年間で１５０万円※1）

※1 子ども対象事業又は指導者育成事業については①最大400万円②最大200万円

２．助成期間は最大３年とし、初年度に全体の事業計画を認定

応募の際の事業計画に基づいて、最大３年分の事業計画を初年度に認定

↓

３年間分の助成を前提とした事業の組み立てが可能

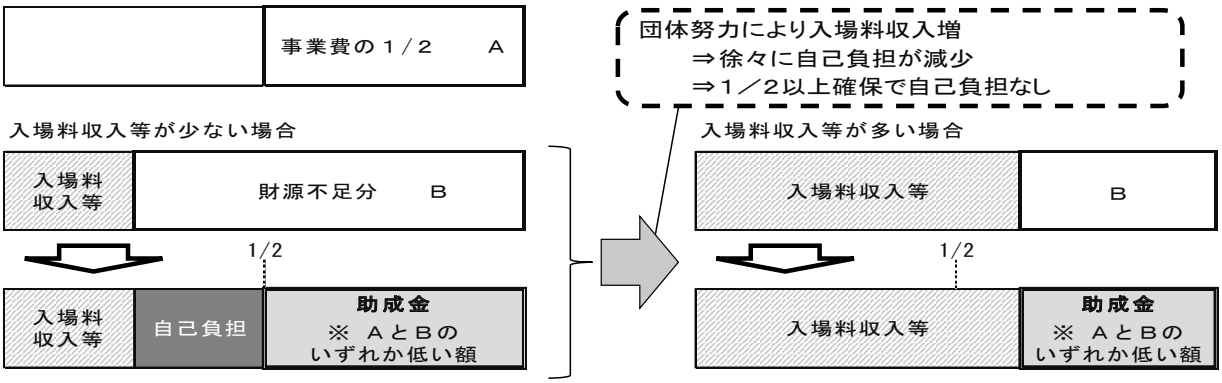
３．事業収入の確保により自己負担が減少する算定方式

助成率は最大で事業費の１／２ ※2

（「事業費×１／２」※2 と「事業費－入場料収入等」のいずれか低い額※3）

※2 子ども対象事業、指導者育成事業については助成率２／３

※3 「事業費＝助成対象経費」のケース



応募にあたって注意する点

●認定にあたっては**書類審査のみ**となりますので、わかりやすい応募資料の作成を心がけてください。
●特に、**応募様式内「新たな取り組み・新たな工夫」**は審査の観点となる項目をまとめる様式であるため、この中で、**応募事業をしっかりとアピールしてください**。
●応募様式の作成にあたっては、必ず下記についてご確認の上、応募してください。

1　営利団体や文化施設の経営団体は、本制度の対象外団体です

営利を目的とする団体や、文化施設の経営を目的とする団体は応募できません。また、文化活動以外の主たる活動を行う団体(観光団体、商業団体、教育機関等)も対象外です。

なお、実行委員会等にこれらの団体が構成団体の一つとして参加することは問題ありません（ただし、中心団体とはなれません）

2　従来事業と変わりのない事業は助成の対象外事業です

団体にとって、新たな創意工夫を行い実施する事業が助成対象となります。

このため、応募様式に、団体のこれまでの取り組みをしっかりと明記するとともに、応募する事業の創意工夫する点について明確にわかるように記載して下さい。

3　団体の管理運営経費は助成の対象外経費です

助成団体の通常の団体運営に係る経費（人件費・交通費を含む）は対象外の経費であり、かつ「収支予算書」にも記載することができません。

＜多く見られる誤り＞
・飲食費（パーティー、打ち上げ等）、パソコン・事務用品など他の用途でも使えるような物品は対象外

①　応募期間

令和８年１１月６日（金）～令和９年１月８日（金）（必着）
※原則、電子データによる提出（郵送も可）、提出後に電話でご連絡ください
（076-225-1371）

②　助成対象事業の実施期間

令和９年４月１日　～　令和１２年３月３１日
※３年以内となります。
※ただし、令和９年度中に事業を実施しないものは対象外となります。

③　助成対象団体

次の要件を全て満たす文化活動団体を対象とします。
※１対象者につき１事業の応募を限度とします（複数事業の応募はできません）。

（１）石川県内に住所または活動の本拠を置いていること
（２）一定の規約等を持ち、代表者が明らかであること
（３）会計経理が明確であること
（４）令和９年４月１日現在で、満３年以上の活動実績があり、事業を完遂できる見込みがあること
（５）実行委員会等、臨時的に組織される団体の場合は、その主な構成団体（中心団体）が上記（１）～（４）の要件を満たすこと

ただし、次のいずれかに該当する団体は対象外となります。

（１）地方公共団体又は地方公共団体が設立した団体
（２）文化施設の経営を目的とする団体
（３）文化活動以外の主たる活動を行う団体
（４）専ら営利を目的とする団体（株式会社等の営利法人）
（５）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）に規定する暴力団、暴力団員、暴力団又は暴力団員と密接な関係を有すると認められる者がいる団体

④　助成事業の区分

１　文化創造普及事業

県全域を対象に実施する文化活動事業について、その経費の一部を助成します。

（例）　石川県〇〇協会が新たに県内小学生の生け花・茶道体験教室を開催
県内各地の発酵食品や地元食材、器などを学ぶ食文化教室を開催
石川県〇〇文化協会が設立５０周年を記念して初めて記念公演を開催
毎年好評な演劇公演を、鑑賞機会の少ない地域で巡回して開催　など

２　地域文化活性化事業

特定市町の地域住民を対象に実施されるものや、地域固有のふるさと文化の発信を目的に実施されるものなど、特定の市町域を対象に実施する文化活動事業について、その経費の一部を助成します。

（例）　〇〇市文化協会が〇〇市伝統芸能の後継者育成講習会を新たに開催
〇〇町〇〇協会が〇〇町伝統芸能の再活性化を図るため新規情報発信事業を実施
〇〇市管弦楽団が設立１０周年を記念して、初めて記念コンサートを開催
〇〇町将棋連盟が町内での活性化を促すため、新たに〇〇町将棋大会を開催　など

⑤　助成対象事業

次の要件を全て満たす事業を対象とします。

１　文化創造普及事業

（１）文化団体が県全域を対象に実施する文化活動事業
（２）石川県内において実施する文化活動事業
（３）新たな創意工夫により実施される文化活動事業

２　地域文化活性化事業

（１）文化団体が特定の市町域を対象に実施する文化活動事業
（２）石川県内において実施する文化活動事業
（３）新たな創意工夫により実施される文化活動事業
（４）事業を実施する団体の住所がある市町又は活動の本拠を置く市町からの補助を受ける文化活動事業（ただし、基金助成金と入場料収入等の事業収入のみで助成対象経費を賄える場合については、市町からの補助金は必ずしも必要ありません）
※市町からの補助についてはＱ＆Ａも参照してください（Ｑ（２）－２、３）

※本制度の助成対象となる文化活動事業とは、次ページの「助成対象となる文化活動の分野」に記載する、音楽、美術といった文化活動について、鑑賞するのではなく、文化団体自ら、もしくは参加者が、表現や創作、体験などを行うものです。（例外的に、表現活動を伴う文化イベントを企画・総合調整を行う場合でも、当該文化イベントが、県内の文化団体や文化の担い手の活動活性化に寄与する内容であれば可）

ただし、上記１、２の事業ともに、次のいずれかに該当する事業は対象外となります。

（１）専ら営利を目的とするもの
（２）特定の政治活動又は宗教活動を目的とするもの
（３）教授所、教室等が行う稽古ごと、習いごと等のおさらい会、発表会、その他特定の会員のみに限られるもの（指導者育成事業を除く）
（４）学校のクラブ活動その他学校教育に関するもの
（５）寄付行為等を行う、いわゆるチャリティーを目的とするもの

（6）当該事業の実施に必要な経費のうち、基金の助成金を除く額（自己負担額）を調達できる見込みがないもの

（7）当該事業について、石川県補助金又はこれに準じた助成金等（石川県が出資した団体からの助成金等）を受けているもの

⑥　助成対象となる文化活動の分野

芸術	文学、音楽、美術、デザイン、写真、演劇、歌劇、舞踊、メディア芸術（アニメ、マンガ等）等
伝統芸能	能楽、邦楽、日本舞踊等
伝統工芸	輪島塗、山中漆器、加賀友禅、九谷焼、金沢箔等
食文化	地域独自の食材、地酒、発酵食品、調理法等
生活文化等	茶道、華道、書道、和装文化
芸能	歌唱、民謡
国民的娯楽	囲碁、将棋
ふるさと文化	地域固有の文化
文化全般	文化祭・芸能祭、文化講座、総合体験等

上記にないものについては、対象となるかお問い合わせください。

⑦　助成金の額

1　助　成　率　①助成対象経費の２分の１以内※の額

※「子ども対象事業」及び「指導者育成事業」の場合、３分の２以内

②事業費（助成対象経費＋助成対象外経費）から事業収入※を除いた額

⇒　①または②のいずれか小さい額の範囲内かつ助成限度額の範囲内

（千円未満切り捨て）

※　事業収入：入場料、協賛金、寄附金、広告料収入、県以外からの補助金・助成金など

2　助成限度額　事業の計画期間により、下記の範囲内※（最大３年間）

計画期間	文化創造普及事業	地域文化活性化事業
１年間	１０万円～１００万円	毎年度 ５万円～５０万円
２年間	２０万円～２００万円	
３年間	３０万円～３００万円	

＜「子ども対象事業」及び「指導者育成事業」の場合＞

計画期間	文化創造普及事業	地域文化活性化事業
１年間	１０万円～１３３万円	５万円～６６万円※ ※3年事業の場合3年目は68万円
２年間	２０万円～２６６万円	
３年間	３０万円～４００万円	

※　ただし、理事長が特に認める場合は、上記の額を超えて交付する場合があります。

※文化創造普及事業又は地域文化活性化事業の対象となる事業の内、次に該当する場合、助成率及び助成限度額が引き上げられます。

・**「子ども対象事業」**

①子どもを主たる対象とした文化活動事業（文化体験事業や文化鑑賞事業等）であること
②参加者の概ね半分以上が子どもであること

（例）
- 子どもが出演する音楽演奏会の初開催
- 子ども向けの内容で行う新たな演劇鑑賞会の開催
- 親子で参加できる文化体験教室の初開催
- 子どもの参加者を募って新たに行う伝統文化の後継者育成事業

・**「指導者育成事業」**

①文化団体内で指導的立場にある者を主たる対象とした文化活動事業であること
②参加者の概ね半分以上が指導的立場にある者であること

（例）
- 外部講師による県内各支部指導者への巡回指導の初実施
- 一流の指導者を初めて招いて行う指導方法改善講習会
- 各流派の垣根を越え、歴史や道具・型の変遷など華道後継者としての知識教養を深める新たな講習会の実施

3　助成金の交付　上記により算出した助成額を下記の通り交付します。

- 文化創造普及事業は、初年度の実績報告後に一括交付
  - ※ ただし、毎年度の事業内容に大きく変動がある事業の場合は、毎年度の実績報告後に当該年度分を交付
- 地域文化活性化事業は、毎年度の実績報告後に当該年度分を交付

⑧　助成対象経費

項　目	細　目	内　　容
出演・音楽・文芸費	出演料	指揮料、演奏料、ソリスト出演料、合唱料、俳優等出演料　等
	音楽費	作曲・編曲料、作詞料、調律料、楽器借料、楽譜借料、写譜料、楽譜製作料、著作権使用料　等
	文芸費	演出料、監修料、振付料、舞台監督料、舞台美術・衣装デザイン料、各種助手料、脚本料、訳詞料、著作権使用料　等
舞台・会場・設営費	舞台費	大道具費、小道具費、衣装費、かつら費、履物費、メイク費、照明費、音響費、機材借料　等
	会場費	会場使用料、設備使用料、会場設営費、撤去費　等
	運搬費	作品運搬費、道具運搬費、楽器運搬費
賃金・旅費・宣伝費等	謝金	編集謝金、原稿執筆謝金、講師謝金、会場整理員謝金、警備謝金　等
	旅費	交通費、宿泊費
	通信費	郵送料

	宣伝費	入場券販売手数料、広告宣伝費、看板費　等
	印刷費	チラシ・ポスター印刷費、入場券印刷費、台本印刷費、資料等印刷費、プログラム印刷費、図録印刷費、印刷製本費　等
	記録費	録画費、録音費、写真費　等
その他	保険料	催事保険料　等
	その他	その他　※判断が難しいものについてはご相談ください

応募する事業に伴う経費であっても、次に掲げる経費は対象外とします。

収支予算書に記載できる助成対象外経費	○航空・列車運賃の特別料金（ファーストクラス料金、グリーン車料金など） ○自ら設置し又は管理する会場施設において活動を行う場合の会場使用料 ○レセプション・パーティ、打ち上げ、飲食等に係る経費 ○土産代 ○商品券等の金券 ○会員や親族が経営する会社との取引に要する経費 ○事業計画書・申請書・報告書等の事務局に提出する書類作成・提出にかかる費用（外部委託（会員外の税理士に委託する場合等））
収支予算書に記載できない助成対象外経費	○通常の団体運営に係る経費（事務所運営費、団体役員・職員・会員の人件費・交通費、団体役員・職員・会員が審査員・講師等である場合の謝金・交通費、雑費など） ○汎用性のある備品（事務機器、事務用品、消耗品など）の購入費 ○電話代、インターネット利用料金等の通信費 ○ホームページ等の保守費用 ○振込手数料及び両替手数料 ○行政機関に支払う手数料 ○収入印紙 ○領収書の用意ができないなど、支出の証明ができない経費 ○社会通念上、公金で賄うことがふさわしくない経費

⑨　申請方法

1　提出書類　（1）事業計画書　【p14，p24】
（2）事業実施計画書　【p15，p25】
（3）収支予算書　【p17，p27】
（4）認定実績確認書【p21，p32】
（5）団体概要調書（団体規約、役員名簿を添付）　【p22，p33】
（6）その他、団体の活動内容や実績等が分かる資料
☆様式（記入例含む）は下記ホームページからダウンロードできます。
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/koubo.html

2　提出方法　電子メール（郵送も可）

３　提出先　①文化創造普及事業

Mail　bunka-kikin@pref.ishikawa.lg.jp

電子メールで送付いただいた場合は、メール送付後、事務局まで電話でご連絡ください（TEL:076-225-1371）

〒920－8580　金沢市鞍月１－１　石川県文化振興課内
公益財団法人いしかわ県民文化振興基金

②地域文化活性化事業

※住所のある市町もしくは活動の本拠を置く市町の文化振興担当課へ相談のうえ、提出（次ページ参照）

⑩　審査方法・審査基準

提出書類をもとに、選考委員会による書類審査を行います。

審査結果は、採否にかかわらず３月を目途に書面により通知します。

※予算の範囲内で助成事業を決定するため、助成決定額は申請額を下回ることがあります。

【審査の主な観点】

①新規性	：団体として新たに立ち上げる事業であるか、従来事業の場合には、新たな工夫を行い実施する事業であるか
②独創性・独自性	：他県・他団体にはない特徴などがあるか
③具体性・実現可能性	：目的、内容が明確・具体的で、事業計画、収支計画は無理や無駄のない内容か
④継続性・発展性	：事業や団体の継続・発展が期待できるか
⑤貢献度	：次代の育成や県民への波及効果等、本県の文化振興に貢献するか

※連続採択回数や、これまでの累計採択回数を考慮する場合があります

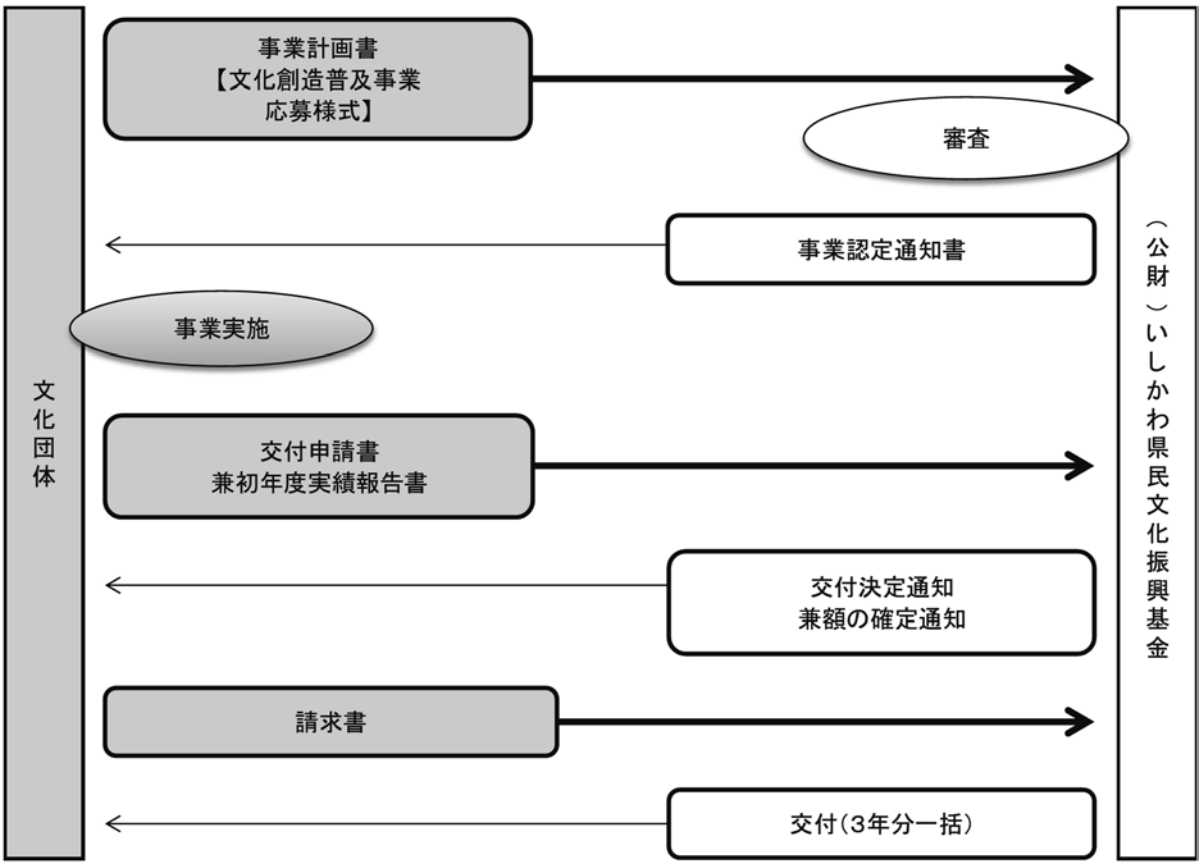
＜各市町担当課＞

市　町	担当課	住　　所	電話番号
金沢市	文化スポーツ局 文化政策課	〒920-8577 金沢市広坂１丁目１番１号	076-220-2442
七尾市	産業文化スポーツ部 文化スポーツ課	〒926-8611 七尾市袖ケ江町イ部 25 番地	0767-53-3661
小松市	国際文化交流部 観光文化課	〒923-8650 小松市小馬出町 91 番地	0761-24-8130
輪島市	教育委員会 生涯学習文化課	〒928-8525 輪島市二ツ屋町２字 29 番地	0768-22-7666
珠洲市	教育委員会事務局 生涯学習係	〒927-1295 珠洲市上戸町北方１字６番地の２	0768-82-7826
加賀市	教育委員会事務局 文化課	〒922-8622 加賀市大聖寺南町二 41 番地	0761-72-7988
羽咋市	教育委員会 生涯学習課	〒925-8501 羽咋市旭町ア 200 番地	0767-22-9331
かほく市	教育委員会 スポーツ文化課	〒929-1123 かほく市森レ８２番地３０	076-283-7135
白山市	観光文化スポーツ部 文化課	〒924-8688 白山市倉光２丁目１番地	076-274-9573
能美市	教育委員会 まなび文化スポーツ課	〒929-0113 能美市大成町ヌ 118 番地	0761-58-2272
野々市市	地域政策部 地域振興課	〒921-8510 野々市市三納１丁目１番地	076-227-6121
川北町	教育委員会 社会教育課	〒923-1295 川北町字壱ツ屋 174 番地	076-277-1151
津幡町	教育委員会 生涯教育課	〒929-0342 津幡町北中条３丁目１番地	076-288-8526
内灘町	教育委員会教育部 文化スポーツ課	〒920-0292 内灘町字大学１丁目２番地１	076-286-6716
志賀町	教育委員会 生涯学習課	〒925-0198 志賀町末吉千古１番地１	0767-32-9350
宝達志水町	教育委員会 生涯学習課	〒929-1492 宝達志水町子浦そ 18 番地１	0767-29-8320
中能登町	教育委員会 生涯学習課	〒929-1715 中能登町一青こ部 19 番地１	0767-74-2735
穴水町	教育委員会事務局	〒927-8601 穴水町字川島ラの 174 番地	0768-52-3720
能登町	教育委員会事務局	〒927-0492 能登町字宇出津ト字 50 番地１	0768-62-8537

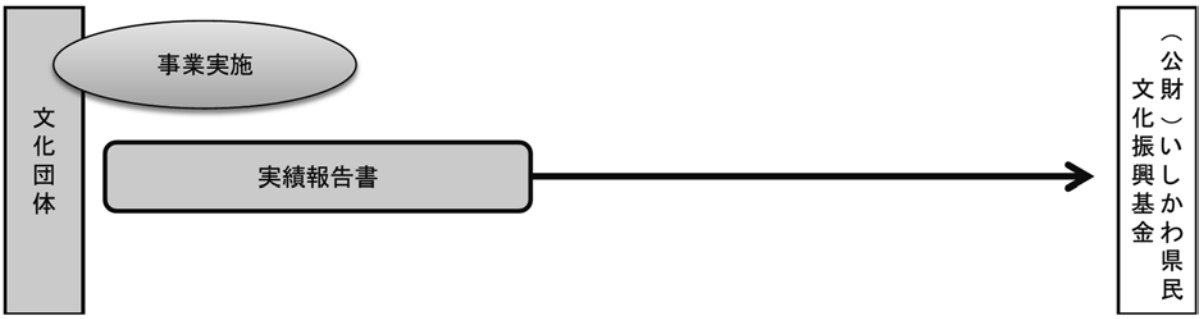
⑪　申請手続き等の流れ

1　文化創造普及事業

＜1年目＞



＜2～3年目＞



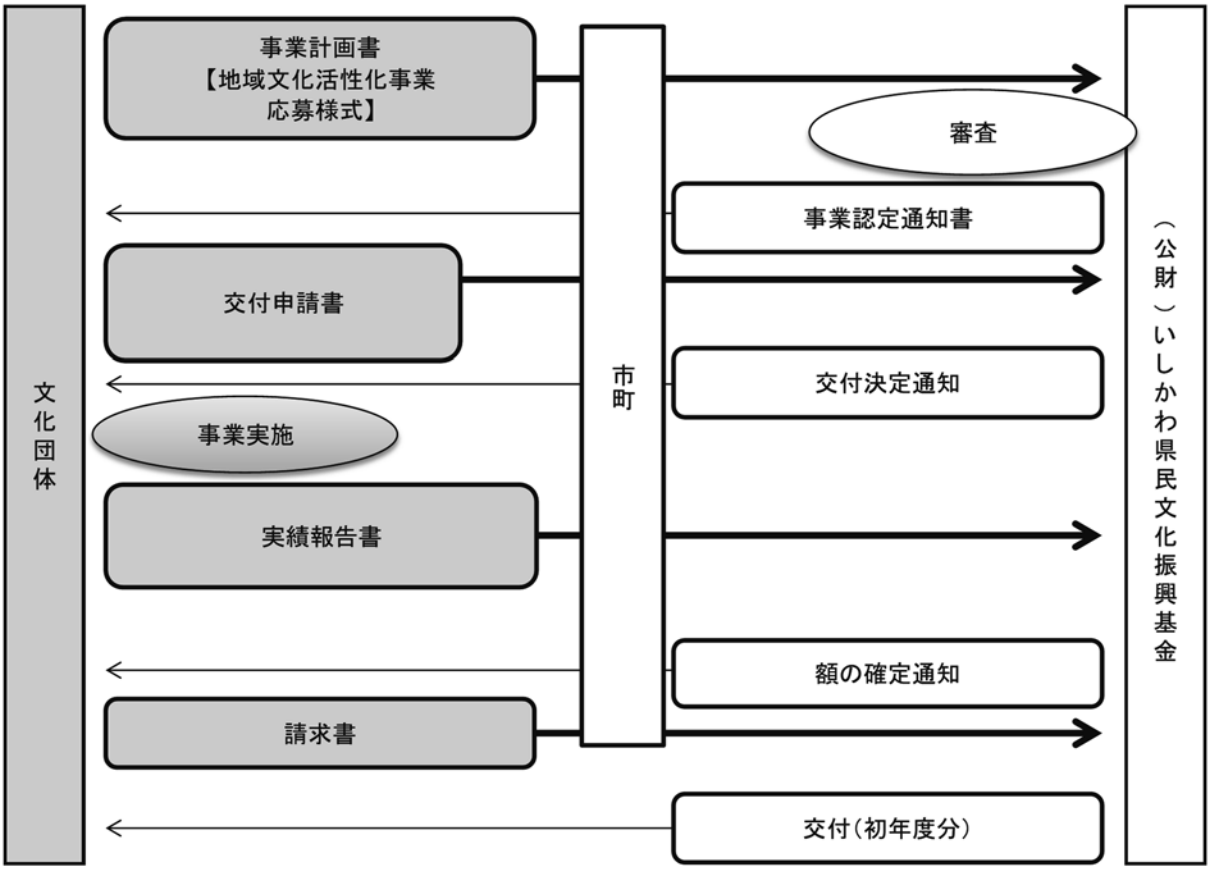
● 認定を受けた助成事業については、１年目の事業実施後に「交付申請書兼初年度実績報告書」を提出していただき、実施状況等について確認させていただいた上で交付決定～交付（支払い）となります。

● 助成金は、計画全期間に要する助成額を、計画年数に関わらず、１年目の実績報告後に一括交付しますので、交付申請にかかる手続きは１年目のみとなります。ただし、実績報告は年度ごとに必要となります。

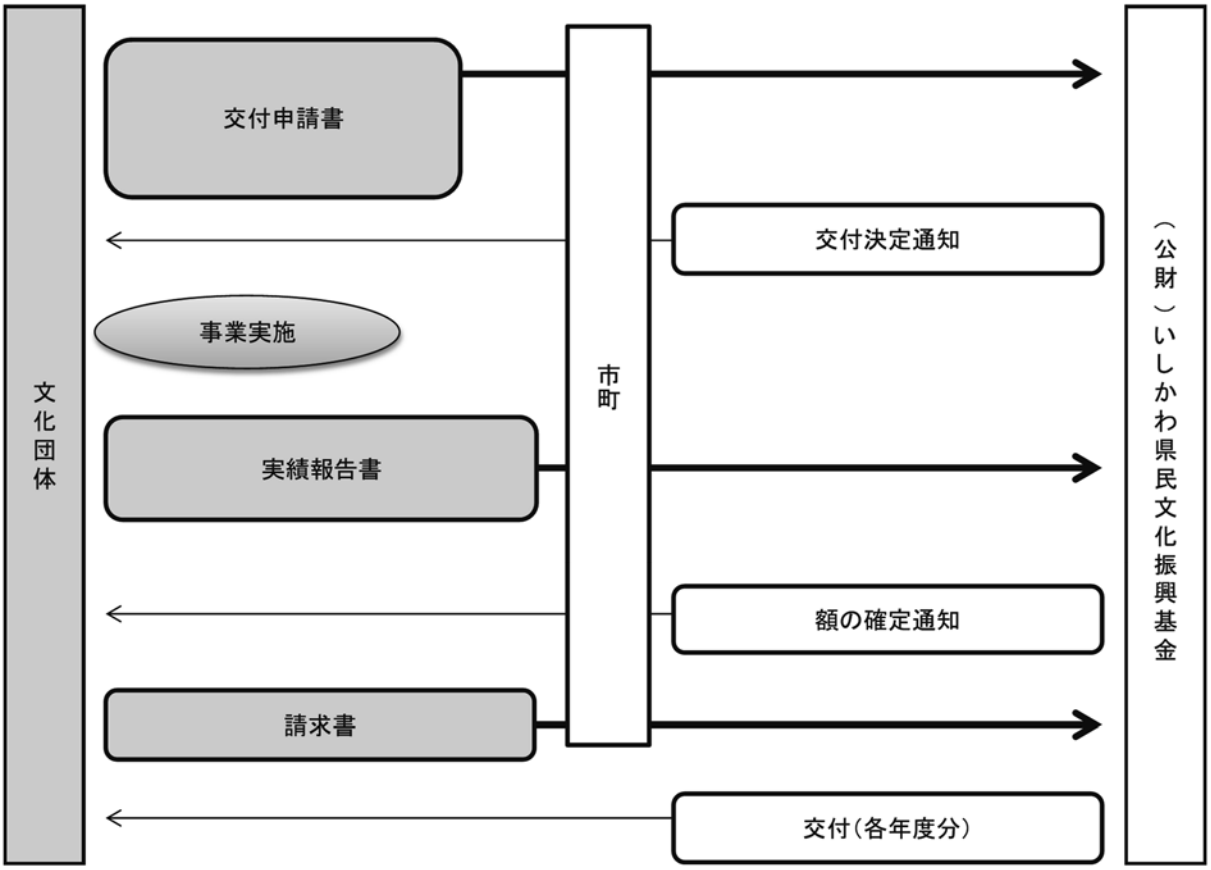
※毎年度の事業内容に大きく変動がある事業の場合は、毎年度の実績報告後に当該年度分を交付しますので、手続きが異なります。該当する事業及び手続きについては、審査結果の通知時にお知らせします。

２　地域文化活性化事業

＜1年目＞



＜2～3年目＞



● 認定した事業については、毎年度当初に「交付申請書」を提出していただいた上で交付決定となります。その後、毎年度の事業実施後に「実績報告書」を提出していただき、実施状況等について確認させていただいた上で交付（支払い）となります。
● 助成金は、毎年度の実績報告後に当該年度分を交付しますので、交付申請・実績報告にかかる手続きが年度ごとに必要となります。
※ 応募（事業計画書）等の書類は、団体住所のある市町もしくは活動の本拠を置く市町を経由して提出してください。

⑫ 助成を受ける旨の表記等

● 助成が決定した事業については、当該事業の実施に際して作成するポスター、チラシ、プログラム等に、本基金の助成を受ける事業である旨を必ず明記してください。４月に事業を実施する場合など、印刷スケジュールの都合により表示が難しい場合についても、ホームページや看板等にて表示を行ってください。
（表示例：「助成：公益財団法人いしかわ県民文化振興基金」、ロゴマーク）

⑬ 留意事項

● 必要に応じて、申請書の内容等について聞き取りを行わせていただく場合があります。
● 提出した書類は、**必ず写しをとり保管してください。**
● 助成が決定した事業は、ホームページに実施団体名・事業概要等を掲載します。また、助成決定に係る式典への出席及び事業概要のプレゼン等をお願いする場合や、今後の事業実施に当たり、実施例として紹介させていただく場合がありますので、その際はご協力ください。
● 助成を受けた団体に対しては、当基金から事業期間中又は事業実施後にアンケート等をお願いする予定ですので、その際はご協力ください。
● 助成を受けた団体は、当該事業に関する収入・支出の内容を証する関係書類を会計帳簿とともに、**事業の完了した日が属する会計年度の終了後５年間保存しなければなりません。**必要に応じて、（公財）いしかわ県民文化振興基金の職員が活動の状況・実績等を調査する場合があります。
● 事業実施にあたっては、アンケート等により公演や展示会などの来場者の声や評価と、事業実施後の団体内の会員の声など積極的な把握に努めて下さい。
● 文化創造普及事業において、助成金の交付後、助成額が実績の助成対象経費を上回るなど、助成金の一部が明らかに助成対象外経費に充当されている場合には、助成金の返還が必要になります。
● その他、この募集要項に定めのない事項は「文化活動支援事業（文化創造普及事業）助成金交付要綱」及び「文化活動支援事業（地域文化活性化事業）助成金交付要綱」に従います。また、申請等の手続きに当たっては、「令和９年度文化活動支援事業 Q&A」も参考としてください。
☆「令和９年度文化活動支援事業 Q&A」は下記ホームページからダウンロードできます。https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/koubo.html

公益財団法人いしかわ県民文化振興基金

〒920−8580　金沢市鞍月１−１　石川県文化観光スポーツ部文化振興課内
TEL　076−225−1371　　FAX　076−225−1496
E-mail　bunka-kikin@pref.ishikawa.lg.jp
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/koubo.html

＜応募様式　記入例＞

（文化創造普及事業）【p14～p23】

（地域文化活性化事業）【p24～p34】

☆様式は下記のホームページからダウンロードできます。
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/koubo.html
（ホームページへは「石川県公募助成」で検索）

記入例（文化創造普及事業）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人いしかわ県民文化振興基金
理事長　酒井　雅洋　様

住所（所在地）　〇〇市〇〇町〇〇－〇〇
団　　体　　名　〇〇文化協会
代表者職・氏名　会長　石川　太郎

文化活動支援事業助成金事業計画書
（文化創造普及事業）

文化活動支援事業助成金の交付について、次のとおり関係書類を添えて要望いたします。

記

事　業　名	〇〇〇〇〇事業
事業実施期間	着手予定　令和　〇〇　年　〇〇　月　〇〇　日 完了予定　令和　〇〇　年　〇〇　月　〇〇　日
事業費総額	4,800,000　円
助成要望額	2,295,000　円
子ども対象事業又は指導者育成事業の該当	有　・　無

助成の対象となる経費は、事業期間内に、実施、発注、納品、支払い等の行為が全て完了したものに限りますので、余裕をもって完了時期を記入してください
着手予定日は「令和９年４月１日以降」、完了予定日は「令和１２年３月３１日以前」となります

「事業費総額」「助成要望額」はそれぞれ（参考：基金助成金の積算）【p20】の「支出合計（３年間総額）（Ｃ）」「基金助成上限額（Ｄ）」と一致させてください

添付書類＞
- 事業実施計画書
- 収支予算書
- 認定実績確認書
- 団体概要調書
- 団体規約
- 役員名簿
- その他

過去に助成を受けたことがある団体は、認定事業ごとに「認定実績確認書」をご提出ください。
団体規約および役員名簿の添付も必ずお願いします

発行責任者	〇〇　〇〇
電話番号	*** － *** － ****
担当者	〇〇　〇〇
電話番号	*** － *** － ****
住所	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇
Ｅメール	〇〇〇@〇〇〇.〇〇

「子どもを主たる対象とした文化活動事業」
又は
「文化団体内で指導的立場にある者を主たる対象とした文化活動事業」
である場合は「有」を囲んでください
（「有」とする場合、参加者の概ね半分以上が子ども又は指導的立場にある者であることが必要です）

事業実施計画書

団　体　名	○○文化協会
事　業　名	○○○○○○事業
事業の目的・概要	今回、○○○○・・・・を目的として、○○○○・・・・を実施する。 ＜例＞・今回、子供が伝統芸能に触れることができる環境を作ることを目的として、県内各地で子供向けの伝統芸能のワークショップを開催する ※事業の目的、対象者、対象地域など、事業内容を簡潔にまとめてください
新たな取り組み・工夫	従来は、○○○○・・・・を行ってきたが、今回新たに○○○○・・・・を実施する。 ＜例＞・従来は、日頃の練習成果を披露する会員向けの発表会であったが、今回初めて、一般向けの公演会として、入場者の範囲・規模を拡大し、実施する ・従来は大人の会員のみの活動であったが、子供の会員募集と外部の専門家の指導による講習会を初めて実施する ※審査の観点となるポイントであるため、できるだけ具体的に記入してください
上記により期待される事業効果	この事業の実施により、○○○○・・・・や○○○○・・・・へとつなげていく。 ＜例＞・県内には年に金沢で１回しかなかった鑑賞機会を増やし、かつ能登地域で開催することにより、多くの県民に文化に親しむ機会を提供できる ・子供が伝統芸能に触れることのできる機会を能登地域で新たに提供することにより、県全域で次代の担い手育成につながる ※本県文化の発展にどのように貢献することができるのか具体的に記入してください

各年度の事業計画・事業内容

R9年度

会場　○○会館ホール　／　実施時期　令和９年○月○日

＜内容・スケジュール（例）＞
○月～○月　県内小中学校へのチラシ配布等により、約 20 人程度を定員に募集
○月～○月　○○文化の指導に定評がある外部講師を招聘（○○○○氏）し、教室を開催
　月○回の指導は大人会員も見学する
○月～○月　○○奏者●●氏と月○回の合同練習を行う
○月○日　練習成果を披露するコンサートを開催
　第一部　○○協会と●●氏による合同演奏
　第二部　○○協会子供会員発表会
　※1 年目の入場料は無料とし、多くの参加を促す

参加者数・入場者数　参加者○○人、入場者○○人　（うち子ども・指導者　人）

共催・後援・協賛等　後援：○○市文化協会　協賛：㈱○○、○○社

R10年度

会場　○○会館ホール（予定）　／　実施時期　令和１０年○月下旬（予定）

＜内容・スケジュール（例）＞
○月～○月　前年参加者に若干名を追加募集
○月～○月　引き続き前年同様に教室を実施（月○回程度）
○月～○月　講師を○○奏者●●氏に変更して月○回の合同練習を行う（予定）
○月○日　練習成果を披露するコンサートを開催
　第一部　○○協会と●●氏による合同演奏
　第二部　○○協会子供会員発表会
　※２年目の入場料は 500 円とする

参加者数・入場者数　参加者○○人、入場者○○人　（うち子ども・指導者　人）

共催・後援・協賛等　後援：○○市文化協会　協賛：㈱○○、○○社

事業の内容や目的を表す、わかりやすい事業名を記入してください

・募集・育成・発表方法、実施にあたっての協力先等を具体的に記入してください
・年度毎の差異が分かるように事業内容を記入してください

「子ども対象事業」又は「指導者育成事業」に該当する場合は、必ず子ども又は指導者の内訳を記入して下さい

※各項目について、記入欄に書き切れない場合は「別紙」と記入し、詳細を記載した別紙を添付してください。

各年度の事業計画・事業内容	R11年度	会場　〇〇会館ホール（予定）	実施時期　令和１１年〇月下旬（予定）
		＜内容・スケジュール（例）＞ 〇月～〇月　前年参加者に若干名を追加募集 〇月～〇月　引き続き前年同様に教室を実施（月〇回程度） 〇月～〇月　講師を〇〇奏者●●氏に変更して月〇回の合同練習を行う（予定） 〇月〇日　練習成果を披露するコンサートを開催 第一部　〇〇協会と●●氏による合同演奏 第二部　〇〇協会子供会員発表会 ※３年目の入場料は 1,000 円とする	
		参加者数・入場者数　参加者〇〇人、入場者〇〇人　（うち子ども・指導者　人）	
		共催・後援・協賛等　後援：〇〇市文化協会　協賛：㈱〇〇、〇〇社	

//

【記載不要】　以下は、**基金職員が記入します**

記入不要です。空欄のまま提出してください

◆収支予算（千円）　交付方法：　一括交付　or　単年交付　（いずれかに〇をつける）

収支予算（千円）	区分／年度		総額（1～3年目）	１年目	２年目	３年目	主な項目
	収入	事業収入					（事業収入）
		自己財源					
		基金助成					（対象経費）
	支出	対象経費					
		対象外経費					（対象外経費）
	収支計						

次頁以降の収支予算書は、この手順で作成してください

＜収支予算書の作成手順＞

① 年度ごとに、支出の部を記載（助成対象経費、助成対象外経費どちらも）
② 年度ごとに、収入の部の事業収入の見込みを記載（入場料収入や協賛金等）
③ （参考：基金助成金の積算）のページで、上記①②で記載した内容をもとに、数字を入れ、基金助成上限額を算出
④ 各年度の収支予算書の「基金助成金」部分に、上記③で算出した金額を年度間で配分して記載　（年度間で大きく変動がある場合は、単年交付となります）
※原則、年度ごとに、1,000 千円を上限に、助成対象経費の 1/2 の額を記載
（子ども対象事業、指導者育成事業の場合は、1,330 千円を上限に、助成対象経費の 2/3 の額を記載）
ただし、収入が多い場合は、当該年度の事業費から収入を引いた金額を記載
⑤ 各年度の収入と支出の合計額が一致するよう、自己負担額等を記載

※詳細は、HP より募集要項記入例をご確認ください。
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/koubo.html

HPQR コード

収　支　予　算　書

○令和９年度（１年目）

◆収入の部　　（単位：円）

項目	内訳	金額
大人入場料	0 円×200 人	0
子供入場料	0 円×100 人	0
協賛金	10,000 円×10 社	100,000
寄付金	100,000 円×1 者	100,000
広告収入	プログラム掲載　5,000 円×10 者	50,000
○○財団助成金		250,000
	事業収入計	500,000
	自己負担額	350,000
	基金助成金	850,000
	収入総額	1,700,000

事業収入には、事業の実施に伴い団体外部から得られる収入等を記入してください（入場料、協賛金、寄付金、広告収入、グッズ等販売収入、その他補助金など）

◆支出の部　　（単位：円）

助成対象経費		
項目	内訳	金額
○○○○氏謝金	50,000 円×7 回	350,000
○○○○氏旅費	（金沢～東京間）30,000 円×7 回	210,000
○○奏者●●氏謝金		250,000
○○奏者●●氏旅費	（金沢～東京間）	30,000
○○会館ホール使用料		230,000
設営費	看板作成、音響設定等	200,000
○○奏者●●氏楽器運搬費		20,000
○○募集広報チラシ	10 円×1,000 枚	10,000
○○実施広報チラシ	20 円×1,000 枚	20,000
○○当日プログラム	20 円×350 枚	7,000
○○チケット	10 円×300 枚	3,000
○○募集広告	○○掲載費	150,000
○○実施広告	○○掲載費	150,000
	助成対象経費計	1,630,000

事業計画書に記載した事業内容のどの部分に係る経費であるのかが分かるように記載を工夫してください

助成対象外経費		
項目	内訳	金額
○○○○氏旅費	グリーン車料金分　10,000 円×7 回	70,000
	助成対象外経費計	70,000
	支出総額	1,700,000

助成対象経費および助成対象外経費の区分は募集要項【p6～7】の表を参考に記入してください

〇令和１０年度（２年目）

◆収入の部　（単位：円）

項目	内訳	金額
大人入場料	500 円×200 人	100,000
子供入場料	0 円×100 人	0
協賛金	10,000 円×15 社	150,000
寄付金	100,000 円×1 者	100,000
広告収入	プログラム掲載　5,000 円×15 者	75,000
〇〇財団助成金		250,000
	事業収入計	675,000
	自己負担額	100,000
	基金助成金	775,000
	収入総額	1,550,000

◆支出の部　（単位：円）

助成対象経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏謝金	50,000 円×7 回	350,000
〇〇〇〇氏旅費	（金沢～東京間）30,000 円×7 回	210,000
〇〇奏者●●氏謝金		250,000
〇〇奏者●●氏旅費	（金沢～東京間）	30,000
〇〇会館ホール使用料		230,000
設営費	看板作成、音響設定等	200,000
〇〇奏者●●氏楽器運搬費		20,000
〇〇募集広報チラシ	10 円×1,000 枚	10,000
〇〇実施広報チラシ	20 円×1,000 枚	20,000
〇〇当日プログラム	20 円×350 枚	7,000
〇〇チケット	10 円×300 枚	3,000
〇〇実施広告	〇〇掲載費	150,000
	助成対象経費計	1,480,000

助成対象外経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏旅費	グリーン車料金分　10,000 円×7 回	70,000
	助成対象外経費計	70,000

支出総額	1,550,000

〇令和１１年度（３年目）

◆収入の部　（単位：円）

項目	内訳	金額
大人入場料	1,000 円×200 人	200,000
子供入場料	500 円×100 人	50,000
協賛金	10,000 円×15 社	150,000
寄付金	100,000 円×1 者	100,000
広告収入	プログラム掲載　5,000 円×20 者	100,000
〇〇財団助成金		250,000
	事業収入計	850,000
	自己負担額	30,000
	基金助成金	670,000
	収入総額	1,550,000

◆支出の部　（単位：円）

助成対象経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏謝金	50,000 円×7 回	350,000
〇〇〇〇氏旅費	（金沢～東京間）30,000 円×7 回	210,000
〇〇奏者●●氏謝金		250,000
〇〇奏者●●氏旅費	（金沢～東京間）	30,000
〇〇会館ホール使用料		230,000
設営費	看板作成、音響設定等	200,000
〇〇奏者●●氏楽器運搬費		20,000
〇〇募集広報チラシ	10 円×1,000 枚	10,000
〇〇実施広報チラシ	20 円×1,000 枚	20,000
〇〇当日プログラム	20 円×350 枚	7,000
〇〇チケット	10 円×300 枚	3,000
〇〇実施広告	〇〇掲載費	150,000
	助成対象経費計	1,480,000

助成対象外経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏旅費	グリーン車料金分　10,000 円×7 回	70,000
	助成対象外経費計	70,000

支出総額	1,550,000

基金助成金の積算

◆事業収入（3 年間総額）　　（単位：円）

500,000	＋	675,000	＋	850,000	＝	（A）2,025,000
（1 年目）		（2 年目）		（3 年目）		

◆助成対象経費（3 年間総額）

1,630,000	＋	1,480,000	＋	1,480,000	＝	（B）4,590,000
（1 年目）		（2 年目）		（3 年目）		

◆支出合計（3 年間総額）

1,700,000	＋	1,550,000	＋	1,550,000	＝	（C）4,800,000
（1 年目）		（2 年目）		（3 年目）		

○「子ども対象事業」、「指導者育成事業」以外の事業（助成率１／２）

①	助成対象経費（3 年間総額） （B）　4,590,000	×	1／2	＝	① 2,295,000	
②	支出合計（3 年間総額） （C）　4,800,000	－	事業収入（3 年間総額） （A）　2,025,000	＝	② 2,775,000	

③助成限度額

計画期間	下限～上限
１年間	１０万円～１００万円
２年間	２０万円～２００万円
３年間	３０万円～３００万円

①、②のいずれか小さい額かつ③助成限度額の範囲内 ＝

基金助成上限額
（D）　2,295,000

千円未満は切り捨てて算出してください。

○「子ども対象事業」及び「指導者育成事業」該当事業（助成率２／３）

「子ども対象事業」及び「指導者育成事業」に該当する事業のみ、こちらで積算して下さい

①	助成対象経費（3 年間総額） （B）	×	2／3	＝	① 	
②	支出合計（3 年間総額） （C）	－	事業収入（3 年間総額） （A）	＝	② 	

③助成限度額

計画期間	下限～上限
１年間	１０万円～１３３万円
２年間	２０万円～２６６万円
３年間	３０万円～４００万円

①、②のいずれか小さい額かつ③助成限度額の範囲内 ＝

基金助成上限額
（D）

千円未満は切り捨てて算出してください。

認定実績確認書

過去に認定された事業ごとに記入が必要になります

事　業　名	○○○○○○事業　　（認定年度　平成○年）
事業概要	○○○○・・・・を目的として、○○○○・・・・を実施した。 *※認定事業時に作成した書類を参考に事業の目的、対象者、対象地域など、実施した事業内容を簡潔にまとめてください*
申請時に計画した事業効果及び達成成果	この事業実施により、○○○○・・・・や○○○○・・・・へとつなげられた。 ＜例＞・子供向けワークショップを行い、子供の会員数が増加した。また、子供の付き添いで参加した親も会員になり、全体の会員数増加に繋がった。県全域で次世代の担い手育成につなげられた *※本県文化の発展にどのように貢献することができたのか、また、団体にとってどのような成果があったのか具体的な数字も示しながら簡潔にまとめてください*
事業の現状	○○○・・・も取り入れ、規模を拡大して事業を継続している。 ＜例＞・認定事業を実施し会員数増加に繋がった為、従来の発表会より規模が大きくなった。展示のみだったが、一般参加者向けにワークショップを開催し、事業の規模を拡大して継続している *※事業をどのように工夫して継続しているかを簡潔にまとめてください*
事業を継続していない場合はその理由	他の事業を○年より始め、現在は継続していない。 ＜例＞・認定事業が周年事業だったため、継続して実施はしていないが年に１回規模を縮小した発表会を行っている ・目標にしていた会員数増加に繋がったので、現在は既存の会員の育成に力を入れている為、継続していない *※事業を継続していない理由を具体的に記入してください*

収支実績	総額	１年目	２年目	３年目	備考
事業収入	500,000	150,000	150,000	200,000	
自己負担額	1,513,000	480,000	508,000	525,000	
基金助成金	1,780,000	575,000	560,000	645,000	
対象経費	3,560,000	1,150,000	1,120,000	1,290,000	
対象外経費	233,000	55,000	98,000	80,000	
収　支　計	0	0	0	0	

※過去に認定された事業がある場合は、認定事業ごとに記入して下さい。

※事業中止や延期がある場合は、備考欄へ追記して下さい。

団　体　概　要　調　書

団　体	（ふりがな） 名称	まるまるぶんかきょうかい 〇〇文化協会	
	所在地	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － ****	
代表者	（ふりがな） 職・氏名	いしかわ　たろう 会長　石川　太郎	（現職と主な経歴） 〇〇社代表取締役、〇〇会会長 元〇〇協会理事長、元〇〇社取締役
	住所	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － ****	
事務担当者 ※基金からの連絡先及び各種通知の送付先となります。	（ふりがな） 職・氏名	いしかわ　はなこ 事務局長　石川　花子	
	住所	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － **** E-mail 〇〇〇@〇〇.〇〇	

設立年月	平成　〇〇年　〇月　〇日	構成員数	〇　団体、　〇〇　人
構成員となるための資格・条件等	構成員となるための資格・条件等（居住地、年齢等）について具体的に記入してください		
活動目的	団体の活動目的について簡潔に記入してください		
主な事業	定期的に行っている活動など、主な事業を記入してください		

		令和〇年度	令和〇年度
最近３年間の活動状況		・第〇回定期演奏会 ・第〇回特別講演 等他〇公演	・第〇回作品展示会 ・〇〇芸術祭開催
財政状況	総収入	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇
	総支出	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇
	当期利益	▲〇〇〇〇千円	▲〇〇〇〇
	利用した助成制度	〇〇〇市補助金 〇〇〇千円	〇〇〇財団助成金 〇〇〇

代表者の方については、現職と、これまでの主な経歴を記入してください

・過去３年の活動実績が必要となりますので、「最近３年間の活動状況」及び「財政状況」についても漏れなく記入してください
・「総収入」は当該年度の団体の総収入額を、「総支出」は団体の総支出額を、「当期利益」は団体の決算上の利益額をそれぞれ記入してください
・団体が作成した既存資料があれば、「別紙」と記入し、当該資料を添付することも可能です

※団体規約（法人の場合は定款、寄付行為等）および役員名簿を添付してください。
※団体の概要がわかるもの（チラシ、パンフレット等）があれば添付してください。
※実行委員会等の臨時的に組織された団体にあっては、主たる構成団体（代表団体）について別途団体概要調書（中心団体用）を作成してください。

必ず添付してください

団　体　概　要　調　書（中心団体用）

※実行委員会等の臨時的に組織された団体にあっては、主たる構成団体（中心団体）について、以下記入してください。

団　体	（ふりがな） 名称	まるまるぶんかきょうかい 〇〇文化協会	
	所在地	〒***　－　****　　〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話　***　－　***　－　****/ FAX　***　－　***　－　***	
代表者	（ふりがな） 職・氏名	いしかわ　たろう 会長　石川　太郎	（現職と主な経歴） 〇〇社代表取締役、〇〇会会長 元〇〇協会理事長、元〇〇社取締役
	住所	〒***　－　****　　〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話　***　－　***　－　****/ FAX　***　－　***　－　****	
事務担当者 ※基金からの連絡先及び各種通知の送付先となります。	（ふりがな） 職・氏名	いしかわ　はなこ 事務局長　石川　花子	
	住所	〒***　－　****　　〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話　***　－　***　－　****/ FAX　***　－　***　－　**** E-mail　〇〇〇@〇〇.〇〇	

設立年月	平成　〇〇年　〇月　〇日	構成員数	〇　団体、　〇〇　人
構成員となるための資格・条件等	構成員となるための資格・条件等（居住地、年齢等）について具体的に記入してください		
活動目的	団体の活動目的について簡潔に記入してください		
主な事業	定期的に行っている活動など、主な事業を記入してください		

		令和〇年度	令和〇年度
最近３年間の活動状況		・第〇回定期演奏会 ・第〇回特別講演 等他〇公演	・第〇回作品展示会 ・〇〇芸術祭開催
財政状況	総収入	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇
	総支出	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇
	当期利益	▲〇〇〇〇千円	▲〇〇〇〇
	利用した助成制度	〇〇〇財団助成金 〇〇〇千円	〇〇〇財団助成金 〇〇〇

※団体規約（法人の場合は定款、寄付行為等）および役員名簿を添付してください。
※団体の概要がわかるもの（チラシ、パンフレット等）があれば添付してください。

代表者の方については、現職と、これまでの主な経歴を記入してください

・過去３年の活動実績が必要となりますので、「最近３年間の活動状況」及び「財政状況」についても漏れなく記入してください
・「総収入」は当該年度の団体の総収入額を、「総支出」は団体の総支出額を、「当期利益」は団体の決算上の利益額をそれぞれ記入してください
・団体が作成した既存資料があれば、「別紙」と記入し、当該資料を添付することも可能です

必ず添付してください

記入例（地域文化活性化事業）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人いしかわ県民文化振興基金
理事長　酒井　雅洋　様

住所（所在地）　〇〇市〇〇町〇〇－〇〇
団　　体　　名　〇〇文化協会
代表者職・氏名　会長　石川　太郎

文化活動支援事業助成金事業計画書
（地域文化活性化事業）

文化活動支援事業助成金の交付について、次のとおり関係書類を添えて要望いたします。

記

事　業　名	〇〇〇〇〇事業
事業実施期間	着手予定　令和　〇〇　年　〇〇　月　〇〇　日 完了予定　令和　〇〇　年　〇〇　月　〇〇　日
事業費総額	2,800,000　円
助成要望額	1,295,000　円
子ども対象事業又は指導者育成事業の該当	有　・　無

助成の対象となる経費は、事業期間内に、実施、発注、納品、支払い等の行為が全て完了したものに限りますので、余裕をもって完了時期を記入してください
着手予定日は「令和９年４月１日以降」、完了予定日は「令和１２年３月３１日以前」となります

「事業費総額」「助成要望額」はそれぞれ（参考：基金助成金の積算）【p30】の「支出合計（３年間総額）（A）」「基金助成上限額（B）」と一致させてください

過去に助成を受けたことがある団体は、認定事業ごとに「認定実績確認書」をご提出ください
団体規約および役員名簿の添付も必ずお願いします

添付書類＞
- 事業実施計画書
- 収支予算書
- 認定実績確認書（過去に認定された事業がある団体は必須）
- 団体概要調書
- 団体規約
- 役員名簿
- その他

発行責任者	〇〇　〇〇
電話番号	*** － *** － ****
担　当　者	〇〇　〇〇
電話番号	*** － *** － ****
住　　所	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇
Ｅメール	〇〇〇@〇〇〇.〇〇

「子どもを主たる対象とした文化活動事業」
又は
「文化団体内で指導的立場にある者を主たる対象とした文化活動事業」
である場合は「有」を囲んでください
（「有」とする場合、参加者の概ね半分以上が子ども又は指導的立場にある者であることが必要です）

事業実施計画書

団　体　名	○○文化協会
事　業　名	○○○○○○事業
事業の目的・概要	今回、○○○○・・・・を目的として、○○○○・・・・を実施する。 ＜例＞・今回、子供が伝統芸能に触れることができる環境を作ることを目的として、県内各地で子供向けの伝統芸能のワークショップを開催する ※事業の目的、対象者、対象地域など、事業内容を簡潔にまとめてください
新たな取り組み・工夫	従来は、○○○○・・・・を行ってきたが、今回新たに○○○○・・・・を実施する。 ＜例＞・従来は、日頃の練習成果を披露する会員向けの発表会であったが、今回初めて、一般向けの公演会として、入場者の範囲・規模を拡大し、実施する ・従来は大人の会員のみの活動であったが、子供の会員募集と外部の専門家の指導による講習会を初めて実施する ※審査の観点となるポイントであるため、できるだけ具体的に記入してください
上記により期待される事業効果	この事業の実施により、○○○○・・・・や○○○○・・・・へとつなげていく。 ＜例＞・県内には年に金沢で１回しかなかった鑑賞機会を増やし、かつ能登地域で開催することにより、多くの県民に文化に親しむ機会を提供できる ・子供が伝統芸能に触れることのできる機会を能登地域で新たに提供することにより、県全域で次代の担い手育成につながる ※本県文化の発展にどのように貢献することができるのか具体的に記入してください

各年度の事業計画・事業内容		
R9年度	会場　○○会館ホール	実施時期　令和９年○月○日
	＜内容・スケジュール（例）＞ ○月～○月　県内小中学校へのチラシ配布等により、約 20 人程度を定員に募集 ○月～○月　○○文化の指導に定評がある外部講師を招聘（○○○○氏）し、教室を開催 月○回の指導は大人会員も見学する ○月～○月　○○奏者●●氏と月○回の合同練習を行う ○月○日　練習成果を披露するコンサートを開催 第一部　○○協会と●●氏による合同演奏 第二部　○○協会子供会員発表会 ※1 年目の入場料は無料とし、多くの参加を促す	
	参加者数・入場者数　参加者○○人、入場者○○人　（うち子ども・指導者　人）	
	共催・後援・協賛等　後援：○○市文化協会　協賛：㈱○○、○○社	
R10年度	会場　○○会館ホール（予定）	実施時期　令和１０年○月下旬（予定）
	＜内容・スケジュール（例）＞ ○月～○月　前年参加者に若干名を追加募集 ○月～○月　引き続き前年同様に教室を実施（月○回程度） ○月～○月　講師を○○奏者●●氏に変更して月○回の合同練習を行う（予定） ○月○日　練習成果を披露するコンサートを開催 第一部　○○協会と●●氏による合同演奏 第二部　○○協会子供会員発表会 ※２年目の入場料は 500 円とする	
	参加者数・入場者数　参加者○○人、入場者○○人　（うち子ども・指導者　人）	
	共催・後援・協賛等　後援：○○市文化協会　協賛：㈱○○、○○社	

事業の内容や目的を表す、わかりやすい事業名を記入してください

・募集・育成・発表方法、実施にあたっての協力先等を具体的に記入してください
・年度毎の差異が分かるように事業内容を記入してください

「子ども対象事業」又は「指導者育成事業」に該当する場合は、必ず子ども又は指導者の内訳を記入して下さい

※各項目について、記入欄に書き切れない場合は「別紙」と記入し、詳細を記載した別紙を添付してください。

各年度の事業計画・事業内容	R11年度	会場　〇〇会館ホール（予定）	実施時期　令和１１年〇月下旬（予定）
		＜内容・スケジュール（例）＞ 〇月～〇月　前年参加者に若干名を追加募集 〇月～〇月　引き続き前年同様に教室を実施（月〇回程度） 〇月～〇月　講師を〇〇奏者●●氏に変更して月〇回の合同練習を行う（予定） 〇月〇日　練習成果を披露するコンサートを開催 第一部 〇〇協会と●●氏による合同演奏 第二部 〇〇協会子供会員発表会 ※３年目の入場料は 1,000 円とする	
		参加者数・入場者数　参加者〇〇人、入場者〇〇人　（うち子ども・指導者　人）	
		共催・後援・協賛等　後援：〇〇市文化協会　協賛：㈱〇〇、〇〇社	
市町からの支援内容		〇〇〇・・・・・ *市町補助金や、会場使用料の減免、人的支援、事業計画に対する指導など、市町から受ける支援の内容を記入してください* *＜例＞* 事業費補助金、〇〇会館ホールの使用料減免、イベント当日の人的支援（会場整理等）、事業計画立案時の助言、広報協力（市広報誌・ＨＰへの掲載、チラシ配置等）	

【記載不要】　以下は、基金職員が記入します

記入不要です。空欄のまま提出してください

◆収支予算（千円）　交付方法：　一括交付　or　単年交付　（いずれかに〇をつける）

収支予算（千円）	区分／年度		総額（1～3年目）	1年目	2年目	3年目	主な項目
	収入	事業収入					（事業収入）
		自己財源					
		市町補助					
		基金助成					（対象経費）
	支出	対象経費					
		対象外経費					
	収支計						

次頁以降の収支予算書は、この手順で作成してください

＜次頁以降の収支予算書の作成手順＞

① 年度ごとに、支出の部を記載（助成対象経費、助成対象外経費どちらも）

② 年度ごとに、収入の部の事業収入の見込みを記載（入場料収入や協賛金等）

③ （参考：基金助成金の積算）のページで、上記①②で記載した内容をもとに、数字を入れ、基金助成上限額を算出

④ 各年度の収支予算書の「基金助成金」部分に、上記③で算出した金額をそれぞれ記載

⑤ 各年度の収入と支出の合計額が一致するよう、自己負担額、市町補助金を記載

※市町からの補助金額については、市町担当課に相談のうえ、記載してください

※詳細は、HP より募集要項記入例をご確認ください。

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/koubo.html　HPQR コード

収　支　予　算　書

〇令和９年度（１年目）

◆収入の部　　（単位：円）

項目	内訳	金額
大人入場料	0 円×200 人	0
子供入場料	0 円×100 人	0
協賛金	5,000 円×10 社	50,000
寄付金	10,000 円×1 者	10,000
広告収入	プログラム掲載　5,000 円×10 者	50,000
〇〇財団助成金		50,000
	事業収入計	160,000
	自己負担額	223,000
	市町補助金	152,000
		465,000
		1,000,000

事業収入には、事業の実施に伴い団体外部から得られる収入等を記入してください
（入場料、協賛金、寄付金、広告収入、グッズ等販売収入、その他補助金、など）

【市町補助金の計算について】
助成対象経費―（事業収入＋基金助成金）
930,000―（160,000＋465,000）＝305,000
305,000×1/2＝152,500
※助成金は千円単位のため、切捨て

◆支出の部　　（単位：円）

助成対象経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏謝金	20,000 円×7 回	140,000
〇〇〇〇氏旅費	（金沢～東京間）30,000 円×7 回	210,000
〇〇奏者●●氏謝金		100,000
〇〇奏者●●氏旅費	（金沢～東京間）	30,000
〇〇会館ホール使用料		100,000
設営費	看板作成、音響設定等	100,000
〇〇奏者●●氏楽器運搬費		10,000
〇〇募集広報チラシ	10 円×1,000 枚	10,000
〇〇実施広報チラシ	20 円×1,000 枚	20,000
〇〇当日プログラム	20 円×350 枚	7,000
〇〇チケット	10 円×300 枚	3,000
〇〇募集広告	〇〇掲載費	100,000
〇〇実施広告	〇〇掲載費	100,000
	助成対象経費計	930,000

事業計画書に記載した事業内容のどの部分に係る経費であるのかが分かるように記載を工夫してください

助成対象外経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏旅費	グリーン車料金分　10,000 円×7 回	70,000
	助成対象外経費計	70,000
	支出総額	1,000,000

助成対象経費および助成対象外経費の区分は募集要項【p6～7】の表を参考に記入してください

〇令和１０年度（２年目）

◆収入の部　（単位：円）

項目	内訳	金額
大人入場料	200 円×200 人	40,000
子供入場料	0 円×100 人	0
協賛金	5,000 円×10 社	50,000
寄付金	10,000 円×1 者	10,000
広告収入	プログラム掲載　5,000 円×15 者	75,000
〇〇財団助成金		50,000
	事業収入計	225,000
	自己負担額	165,000
	市町補助金	95,000
	基金助成金	415,000
	収入総額	900,000

◆支出の部　（単位：円）

助成対象経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏謝金	20,000 円×7 回	140,000
〇〇〇〇氏旅費	（金沢～東京間）30,000 円×7 回	210,000
〇〇奏者●●氏謝金		100,000
〇〇奏者●●氏旅費	（金沢～東京間）	30,000
〇〇会館ホール使用料		100,000
設営費	看板作成、音響設定等	100,000
〇〇奏者●●氏楽器運搬費		10,000
〇〇募集広報チラシ	10 円×1,000 枚	10,000
〇〇実施広報チラシ	20 円×1,000 枚	20,000
〇〇当日プログラム	20 円×350 枚	7,000
〇〇チケット	10 円×300 枚	3,000
〇〇実施広告	〇〇掲載費	100,000
	助成対象経費計	830,000

助成対象外経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏旅費	グリーン車料金分　10,000 円×7 回	70,000
	助成対象外経費計	70,000

支出総額	900,000

〇令和１１年度（３年目）

◆収入の部　（単位：円）

項目	内訳	金額
大人入場料	300 円×200 人	60,000
子供入場料	100 円×100 人	10,000
協賛金	5,000 円×10 社	50,000
寄付金	10,000 円×1 者	10,000
広告収入	プログラム掲載　5,000 円×20 者	100,000
〇〇財団助成金		50,000
	事業収入計	280,000
	自己負担額	138,000
	市町補助金	67,000
	基金助成金	415,000
	収入総額	900,000

◆支出の部　（単位：円）

助成対象経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏謝金	20,000 円×7 回	140,000
〇〇〇〇氏旅費	（金沢～東京間）30,000 円×7 回	210,000
〇〇奏者●●氏謝金		100,000
〇〇奏者●●氏旅費	（金沢～東京間）	30,000
〇〇会館ホール使用料		100,000
設営費	看板作成、音響設定等	100,000
〇〇奏者●●氏楽器運搬費		10,000
〇〇募集広報チラシ	10 円×1,000 枚	10,000
〇〇実施広報チラシ	20 円×1,000 枚	20,000
〇〇当日プログラム	20 円×350 枚	7,000
〇〇チケット	10 円×300 枚	3,000
〇〇実施広告	〇〇掲載費	100,000
	助成対象経費計	830,000

助成対象外経費		
項目	内訳	金額
〇〇〇〇氏旅費	グリーン車料金分　10,000 円×7 回	70,000
	助成対象外経費計	70,000

支出総額	900,000

基金助成金の積算

※「子ども対象事業」及び「指導者育成事業」の場合は次頁を使用すること

※「１　収入の部」に記載する各年度の基金助成金は、それぞれ下記①、②のいずれか小さい額の範囲内かつ③助成限度額（５～５０万円）の範囲内として記載

【１年目】　※単位:円

①	助成対象経費（１年目） 930,000	×	１／２	＝	① 465,000	
②	支出合計（１年目） 1,000,000	－	事業収入（１年目） 160,000	＝	② 840,000	

①、②のいずれか小さい額かつ③助成限度額の範囲内 ＝ 基金助成上限額（１年目）：465,000

千円未満は切り捨てて算出してください。

【２年目】

①	助成対象経費（２年目） 830,000	×	１／２	＝	① 415,000	
②	支出合計（２年目） 900,000	－	事業収入（２年目） 225,000	＝	② 675,000	

①、②のいずれか小さい額かつ③助成限度額の範囲内 ＝ 基金助成上限額（２年目）：415,000

千円未満は切り捨てて算出してください。

【３年目】

①	助成対象経費（３年目） 830,000	×	１／２	＝	① 415,000	
②	支出合計（３年目） 900,000	－	事業収入（３年目） 280,000	＝	② 620,000	

①、②のいずれか小さい額かつ③助成限度額の範囲内 ＝ 基金助成上限額（３年目）：415,000

千円未満は切り捨てて算出してください。

◆支出合計（3 年間総額）

1,000,000 （1 年目）	＋	900,000 （2 年目）	＋	900,000 （3 年目）	＝	（A）2,800,000

◆基金助成上限額合計（3 年間総額）

465,000 （1 年目）	＋	415,000 （2 年目）	＋	415,000 （3 年目）	＝	（B）1,295,000

「子ども対象事業」及び「指導者育成事業」に該当する事業のみ、こちらで積算して下さい

基金助成金の積算２

※「子ども対象事業」及び「指導者育成事業」の場合のみ下記により算出。

※「１　収入の部」に記載する各年度の基金助成金は、それぞれ下記①、②のいずれか小さい額の範囲内かつ③助成限度額（１～２年目：５～６６万円、３年目：５～６８万円）の範囲内として記載

【１年目】　※単位:円

①	助成対象経費（１年目）	×	２／３	＝	①

②	支出合計（１年目）	－	事業収入（１年目）	＝	②

①、②のいずれか小さい額かつ③助成限度額の範囲内 ＝ 基金助成上限額（１年目）

千円未満は切り捨てて算出してください。

【２年目】

①	助成対象経費（２年目）	×	２／３	＝	①

②	支出合計（２年目）	－	事業収入（２年目）	＝	②

①、②のいずれか小さい額かつ③助成限度額の範囲内 ＝ 基金助成上限額（２年目）

千円未満は切り捨てて算出してください。

【３年目】

①	助成対象経費（３年目）	×	２／３	＝	①

②	支出合計（３年目）	－	事業収入（３年目）	＝	②

①、②のいずれか小さい額かつ③助成限度額の範囲内 ＝ 基金助成上限額（３年目）

千円未満は切り捨てて算出してください。

◆支出合計（3 年間総額）

	＋		＋		＝	（A）
（1 年目）		（2 年目）		（3 年目）		

◆基金助成上限額合計（3 年間総額）

	＋		＋		＝	（B）
（1 年目）		（2 年目）		（3 年目）		

認定実績確認書

事　業　名	○○○○○○事業　　（認定年度　平成○年）
事業概要	○○○○・・・・を目的として、○○○○・・・・を実施した。 ※認定事業時に作成した書類を参考に事業の目的、対象者、対象地域など、実施した事業内容を簡潔にまとめてください
申請時に計画した事業効果及び達成成果	この事業実施により、○○○○・・・・や○○○○・・・・へとつなげられた。 ＜例＞・子供向けワークショップを行い、子供の会員数が増加した。また、子供の付き添いで参加した親も会員になり、全体の会員数増加に繋がった。県全域で次世代の担い手育成につなげられた ※本県文化の発展にどのように貢献することができたのか、また、団体にとってどのような成果があったのか具体的な数字も示しながら簡潔にまとめてください
事業の現状	○○○・・・も取り入れ、規模を拡大して事業を継続している。 ＜例＞・認定事業を実施し会員数増加に繋がった為、従来の発表会より規模が大きくなった。展示のみだったが、一般参加者向けにワークショップを開催し、事業の規模を拡大して継続している ※事業をどのように工夫して継続しているかを簡潔にまとめてください
事業を継続していない場合はその理由	他の事業を○年より始め、現在は継続していない。 ＜例＞・認定事業が周年事業だったため、継続して実施はしていないが年に１回規模を縮小した発表会を行っている ・目標にしていた会員数増加に繋がったので、現在は既存の会員の育成に力を入れている為、継続していない ※事業を継続していない理由を具体的に記入してください

収支実績	総額	１年目	２年目	３年目	備考
事業収入	267,000	80,000	85,000	102,000	
自己負担額	540,000	165,000	185,000	190,000	
基金助成金	950,000	300,000	325,000	325,000	
市町補助金	258,000	90,000	95,000	73,000	
対象経費	1,900,000	600,000	650,000	650,000	
対象外経費	115,000	35,000	40,000	40,000	
収　支　計	0	0	0	0	

※過去に認定された事業がある場合は、認定事業ごとに記入して下さい。
※事業中止や延期がある場合は、備考欄へ追記して下さい。

団　体　概　要　調　書

団　体	（ふりがな） 名称	まるまるぶんかきょうかい 〇〇文化協会	
	所在地	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － ***	
代表者	（ふりがな） 職・氏名	いしかわ　たろう 会長　石川　太郎	（現職と主な経歴） 〇〇社代表取締役、〇〇会会長 元〇〇協会理事長、元〇〇社取締役
	住所	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － ****	
事務担当者 ※基金からの連絡先及び各種通知の送付先となります。	（ふりがな） 職・氏名	いしかわ　はなこ 事務局長　石川　花子	
	住所	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － **** E-mail 〇〇〇@〇〇.〇〇	

設立年月	平成　〇〇年　〇月　〇日	構成員数	〇　団体、　〇〇　人

構成員となるための資格・条件等	*構成員となるための資格・条件等（居住地、年齢等）について具体的に記入してください*
活動目的	*団体の活動目的について簡潔に記入してください*
主な事業	*定期的に行っている活動など、主な事業を記入してください*

		令和〇年度	令和〇年度
最近３年間の活動状況		・第〇回定期演奏会 ・第〇回特別講演 等他〇公演	・第〇回作品展示会 ・〇〇芸術祭開催
財政状況	総収入	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇
	総支出	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇
	当期利益	▲〇〇〇〇千円	▲〇〇〇〇
	利用した助成制度	〇〇〇市補助金 〇〇〇千円	〇〇〇財団助成金 〇〇〇

代表者の方については、現職と、これまでの主な経歴を記入してください

・過去３年の活動実績が必要となりますので、「最近３年間の活動状況」及び「財政状況」についても漏れなく記入してください
・「総収入」は当該年度の団体の総収入額を、「総支出」は団体の総支出額を、「当期利益」は団体の決算上の利益額をそれぞれ記入してください
・団体が作成した既存資料があれば、「別紙」と記入し、当該資料を添付することも可能です

※団体規約（法人の場合は定款、寄付行為等）および役員名簿を添付してください。
※団体の概要がわかるもの（チラシ、パンフレット等）があれば添付してください。
※実行委員会等の臨時的に組織された団体にあっては、主たる団体（代表団体）について別途団体概要調書（中心団体用）を作成してください。

必ず添付してください

団　体　概　要　調　書（中心団体用）

※実行委員会等の臨時的に組織された団体にあっては、主たる構成団体（中心団体）について、以下記入してください。

団　体	（ふりがな） 名称	まるまるぶんかきょうかい 〇〇文化協会	
	所在地	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － ***	
代表者	（ふりがな） 職・氏名	いしかわ　たろう 会長　石川　太郎	（現職と主な経歴） 〇〇社代表取締役、〇〇会会長 元〇〇協会理事長、元〇〇社取締役
	住所	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － ****	
事務担当者 ※基金からの連絡先及び各種通知の送付先となります。	（ふりがな） 職・氏名	いしかわ　はなこ 事務局長　石川　花子	
	住所	〒*** － **** 〇〇市〇〇町〇〇－〇〇	
	連絡先	電話 *** － *** － ****/ FAX *** － *** － ****	
		E-mail 〇〇〇@〇〇.〇〇	
設立年月	平成　〇〇年　〇月　〇日	構成員数	〇　団体、　〇〇　人
構成員となるための資格・条件等	構成員となるための資格・条件等（居住地、年齢等）について具体的に記入してください		
活動目的	団体の活動目的について簡潔に記入してください		
主な事業	定期的に行っている活動など、主な事業を記入してください		

		令和〇年度	令和〇年度
最近３年間の活動状況		・第〇回定期演奏会 ・第〇回特別講演 等他〇公演	・第〇回作品展示会 ・〇〇芸術祭開催
財政状況	総収入	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇
	総支出	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇
	当期利益	▲〇〇〇〇千円	▲〇〇〇〇
	利用した助成制度	〇〇〇財団助成金 〇〇〇千円	〇〇〇財団助成金 〇〇〇

代表者の方については、現職と、これまでの主な経歴を記入してください

・過去３年の活動実績が必要となりますので、「最近３年間の活動状況」及び「財政状況」についても漏れなく記入してください
・「総収入」は当該年度の団体の総収入額を、「総支出」は団体の総支出額を、「当期利益」は団体の決算上の利益額をそれぞれ記入してください
・団体が作成した既存資料があれば、「別紙」と記入し、当該資料を添付することも可能です

※団体規約（法人の場合は定款、寄付行為等）および役員名簿を添付してください。
※団体の概要がわかるもの（チラシ、パンフレット等）があれば添付してください。

必ず添付してください

（　Memo　）

公益財団法人いしかわ県民文化振興基金

〒920−8580　金沢市鞍月１−１
石川県文化観光スポーツ部文化振興課内
TEL　076−225−1371　　FAX　076−225−1496
E-mail　bunka-kikin@pref.ishikawa.lg.jp
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/koubo.html